

東京国際映画祭 TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL 2023

◆第36回東京国際映画祭：ポスタービジュアル解禁 / ナビゲーターは安藤桃子監督 / 新たに映画祭のミッションも策定！！

本年10月23日(月)～11月1日(水)開催の第36回東京国際映画祭のポスターが完成。

今年は本映画祭で生誕120年となる小津安二郎の特集を組むことになっており、その小津の代表作の1つである『東京物語』にオマージュを捧げるようなイメージで、現代の東京(撮影場所は東京駅近くのKITTE 丸の内の屋上庭園)を舞台に、『東京物語』の中の笠智衆と原節子のように、親子で奥田瑛二氏と安藤桃子氏を撮り下ろした。ビジュアル監修は昨年同様コシノジュンコ氏となり、東京近郊の映画館で明日8/18(金)から掲出予定。

「そして、安藤桃子さんには今年の本映画祭のナビゲーターに就任して頂くことも決定致しました。これまで「アンバサダー」という形で俳優・女優の方々に就任してきてもらっていましたが、今年は映画祭をより楽しんで頂くための案内人として、映画監督であり、高知で映画館の代表も務め、自身で映画祭も企画するなど様々な形で映画にコミットしている安藤桃子さんに「アンバサダー」改め「ナビゲーター」として立ってもらおうこととしました。」

安藤桃子(映画監督)コメント：争いも限界もなく、どんな存在にも光を当て、時間も空間も飛び越えて、自由自在に生きられる世界。

映画はあらゆる物語を具現化できる。

映画は世界を変えられる。

映画で世界が変わる。

本当に、そうなんだと思っている。

映画は人の心を映し出す。

目に見えない風や小さな生き物たちも、すべてのイノチを映し出す。

心の内にある、過去も未来も記憶し、記録する。

2023年の今、私たちは何を見つめ、どこへ導かれるのだろうか。

映画祭は世界の羅針盤だ。

いま、ここ、東京から。

「また、今年は新たに東京国際映画祭のミッション(理念)を下記一文にて策定しましたので、こちら併せて報告をさせていただきます。これまで本映画祭ではその年ごとにテーマやポイント等を設定してきていましたが、今後はこのミッションを基本理念として貫きながらスタッフ一同映画祭の運営にあたっていく所存です。

東京から映画の可能性を発信し、多様な世界との交流に貢献する。

この1年でスタッフ一同で意見を出し合い、「東京」「国際」「映画」「祭」をきちんと言葉通りに体現できるようにとこのことで考えました。「映画の可能性」にはアート作品からエンタメ大作まで様々な作品が生み出される可能性、人生や文化、世界を変える可能性、過去の遺産の継承(旧作)・現在の多様性の享受(最新作)・未来の開拓(野心作)への可能性、など様々な思いを含め、「多様な世界」には国・人種・性別・民族・宗教・言語・価値観・世界観などの様々



なボーダーを越えたもの、国外だけでなく国内も含み、製作者と観客のボーダーも越えたものといったことを意図し、映画の力で多種多様な世界をよりカラフルにしていけたらと思っています。そして、最終的にはお祭りとして楽しんで頂ければと思っています。」

10月23日(月)のオープニングセレモニーに関しては、昨年同様東京宝塚劇場で行うほか、クロージングセレモニーはTOHOシネマズ日比谷(スクリーン12)、会期中の上映劇場は昨年から加わった丸の内TOEI、丸の内ピカデリー、TOHOシネマズ日比谷の大型劇場に加え、ヒューリックホール東京が新たに加わり、この他に角川シネマ有楽町、シネスイッチ銀座、ヒューマントラストシネマ有楽町、TOHOシネマズシャンテとなり、上映本数は昨年よりもさらに拡大する予定。また、三井不動産、三菱地所といった日比谷・丸の内地区の有力企業ともより連携を深め、東京都、千代田区、中央区などの行政、全銀座会等の地元団体とも様々な協力体制を敷き、街ぐるみの映画祭となっていくとしている。

<第36回東京国際映画祭 開催概要>

■開催期間：2023年10月23日(月)～11月1日(水)

■会場：日比谷・有楽町・丸の内・銀座地区

■公式サイト：www.tiff-jp.net

<TIFFCOM2023 開催概要>

■開催期間：2023年10月25日(水)～27日(金)

■会場：東京都立産業貿易センター浜松町館

■公式サイト：www.tiffcom.jp

東京国際映画祭 TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL 2023

◆第36回東京国際映画祭の顔：【オープニング】【クロージング】の2作品が決定!!

オープニング作品『PERFECT DAYS』

クロージング作品『ゴジラ-1.0』

10月23日(月)～11月1日(水)開催の第36回東京国際映画祭のオープニング作品とクロージング作品が決定。

オープニング作品は今年のカンヌ国際映画祭で主演の役所広司に最優秀男優賞をもたらした『PERFECT DAYS』。(監督:ヴィム・ヴェンダース)。

カンヌ国際映画祭で最優秀男優賞を受賞した際に、ヴィム・ヴェンダース監督が「役所広司は僕の笠智衆だ」と絶賛した本作が東京国際映画祭の開幕を飾るというのは、日本が世界に誇る巨匠の生誕120年の年に至極喜ばしいことであり、ここからまた新たな歴史が紡がれることになるでしょう。カンヌで世界を感動させた傑作がアジアプレミアとして東京国際映画祭の開幕を温かく盛り上げます。

クロージング作品は『ゴジラ-1.0』(監督・脚本・VFX:山崎貴)。1954年に初めて姿を現して以来、日本のみならず世界中を魅了し、衝撃を与え続けてきた怪獣「ゴジラ」。ゴジラ70周年記念作品でもある本作が、公開前唯一の一般向けの世界最速上映として日本の映画祭の終幕にその咆哮をあげます。

映画祭の顔となるこの2作品に是非ご期待下さい!

オープニング作品『PERFECT DAYS』

第76回カンヌ国際映画祭、最優秀男優賞受賞作!!



目を細めた。そんな男の日に思いがけない出来事がおきる。それが男の過去を小さく揺らした。

監督:ヴィム・ヴェンダース 出演:役所広司、柄本時生、中野有紗、アオイヤマダ、麻生祐未、石川さゆり、田中泯、三浦友和 配給:ピターズ・エンド (2023年12月22日全国公開/日本)

東京・渋谷でトイレ清掃員として働く平山(役所広司)は、静かに淡々とした日々を生きていた。同じ時間に目覚め、同じように支度をし、同じように働いた。その毎日と同じことの繰り返しに見えるかもしれないが、同じ日は1日としてなく、男は毎日を新しい日として生きていた。その生き方は美しくすらあった。男は木々を愛していた。木々がつくる木漏れ日に

ヴィム・ヴェンダース監督コメント:今年の東京国際映画祭は私が敬愛する巨匠・小津安二郎監督の死後60年、生誕120年の記念すべき年に開催されるもので、そんな機会に参加できることは私にとっては特別なことです。そこで私の『PERFECT DAYS』がオープニング上映されるというのはこれ以上ない誇りです。

市山尚三プログラミング・ディレクターコメント:『PERFECT DAYS』がワールド・プレミア上映されたのは5月25日、カンヌ映画祭も終盤に差し掛かり佳境を迎えようとしていた頃でした。公式上映が終わった後、映画を観た人々が一様に幸福そうな表情で感想を話していたことをよく覚えています。まさに映画祭の空気が一変した瞬間でした。世界から集まった映画のプロフェッショナルたちの感情をそこまで動かしたこの作品をオープニング作品として映画祭の観客の皆様にお届けできることは、プログラミング・ディレクターとして大きな喜びです。

クロージング作品『ゴジラ-1.0』

ゴジラ70周年記念作品シリーズ史上最悪の絶望が日本を襲う!



©2023 TOHO CO., LTD.

戦後、無(ゼロ)になった日本へ追い打ちをかけるように現れたゴジラがこの国を負(マイナス)に叩き落す。史上最も絶望的

な状況での襲来に誰が?そしてどうやって?日本は立ち向かうのか。

監督・脚本・VFX:山崎貴

配給:東宝(2023年11月3日公開/日本)

2023年11月3日(金・祝)全国東宝系にてロードショー

※公開日以降は、「全国東宝系にて公開中」。

山崎貴監督コメント:かつて東京国際映画祭といえばゴジラ初お披露目の場所でした。公開前、たった一度だけと決まった一般上映をその伝統ある映画祭で行えるというのは運命を感じますし、とても光栄なことだと思っています。

市山尚三プログラミング・ディレクターコメント:『ゴジラ-1.0』は初代ゴジラに当時の製作者たちが込めた精神を引き継ぎつつ、様々な点において山崎監督の果敢なチャレンジが見て取れる素晴らしい作品です。この作品を世界に先駆けてクロージング作品として東京国際映画祭で上映できることは大きな喜びです。

<第36回東京国際映画祭 開催概要>

■開催期間:2023年10月23日(月)～11月1日(水)

■会場:日比谷・有楽町・丸の内・銀座地区

■公式サイト:www.tiff-jp.net



◆ KPI : GODOX ワイヤレスフラッシュトリガー「X Proll」FUJI 用 / オリンパス・パナソニック用ならびにライティングアクセサリ販売開始案内

株式会社ケンコープロフェッショナルイメージング（代表取締役社長：山中徹）は、さらなる進化を遂げ、ストロボ撮影をより効率的に、より機能的にコントロール可能にした TTL ワイヤレスフラッシュトリガー「X Proll」の富士フィルム用ならびにオリンパス・パナソニック用の販売を 2023 年 9 月 8 日より開始する。またストロボや LED などのライティング製品で利用できる、汎用性・携帯性に優れた複数のアクセサリを 2023 年 9 月 8 日より販売する。

■製品特徴



各ブランドの TTL オートフラッシュに対応。プロフェッショナルなワイヤレス環境を実現します

X ProllF/XProllO : 富士フィルム、オリンパス パナソニックの各ブランドカメラ TTL オートフラッシュに対応。1/8000 秒のハイスピードシンクロ、先幕・後幕シンクロモードなど、さまざまな機能を装備している。また大型の LCD スクリーンと直感的な表示で作業を一層効率化する。

32 チャンネル 16 グループのマルチチャンネルを備えており、99 のワイヤレス ID 設定が可能。最大 100 メートル離れた場所から信号を送信することができる。また、複雑なワイヤレス環境でも予備のチャンネルと ID を自動検索するスキャン機能により、準備時間を大幅に節約する。

マルチ撮影機能を搭載。1 つのオブジェクトを異なるカメラ位置から同時に撮影することができます。たとえば複数の撮影者で、同じライトを共有することができます。

TCM 機能により、TTL モードからマニュアルモードへ、発光パラメーターを保持したまま瞬時変換が可能。逆の場合は元に戻るため、一貫して適切な露出下で撮影することができる。

着脱は、クイックレバーによるロック方式を採用。従来のダイヤル式と比較して、スピーディーかつ安全に固定可能になった。

2.4GHz モジュール内蔵のセコニック露出計「L 858」とコラボレーション。測光後は、パラメーターを L 858 から直接調整できますので、より正確なライティングを実現。

iOS および Android 用のアプリにより、スマートフォンやタブレットから Bluetooth 接続でより柔軟かつ直感的な制御を可能にする。

■仕様

電源	単三アルカリ電池 2 本
露出コントロール	各社 TTL オートフラッシュ、マニュアルフラッシュ、マルチフラッシュ (FEC フラッシュ露出補正 = 1/3 刻みで ±3)
シンクロモード	ハイスピードシンクロモード (露出値 ±3EV、1/3EV 刻みで調整可能) / 後幕シンクロモード
モデリングフラッシュ	GODOX Wistron シリーズのモデリングランプを ON/OFF およびグループ調光可能
TCM 機能	TTL モード時の発光設定値をマニュアルモードに移行
ZOOM 設定	トランスミッターで ZOOM 値を AUTO または 24-200 に調整
メモリー機能	最終操作から 2 秒後に設定を保存し、再起動後は保存状態に復帰
その他	フォーカスアシスト、プザー音制御、ファームウェアアップデートは USB タイプ C を使用
ワイヤレスグループ	5 グループ (A-E) または 16 グループ (0-9、A-F ※レシーバー端末がスタジオフラッシュで M モード設定時)
送信範囲	最大 100m (撮影環境による。カスタム設定により 30m 縮小可能)
チャンネル / ID	32 チャンネル / ID 01-99
ディスプレイ	大画面 LCD パネル (バックライト ON/OFF) ※カスタム設定により -3 ~ +3 の範囲内でコントラスト調整可能
サイズ / 重量	95 × 62 × 49mm / 93g

シングルコンタクト機能をオプションで提供している。より迅速で感度の高いトリガーを実現。連写撮影において、より短い間隔での連続トリガーを可能にする。

■商品名・価格 (税別)・JAN コード

X ProllF (富士フィルム用) 14,800 円 4961360262711
X ProllO (オリンパス・パナソニック用) 14,800 円
4961360262728

ロングフォーカスリフレクター「AD-R12」 ※本体および AD400Pro への装着イメージ		
ソフトテント「ML-CS1625」 ※本体および AD200Pro への装着イメージ		
ディフューザードーム「ML-CD15」 ※本体および AD100Pro への装着イメージ		
ソフトボックス「ML-SB3030」 ※本体および収納イメージ		

AD-R12 : GODOX ストロボ「AD400Pro」用に開発された、物撮りなど鮮やかなアウトラインやシャープネスを求める撮影に適したロングフォーカスリフレクター。NEW GODOX マウント仕様なので、直接 AD400Pro に取付が可能。

ML-CS1625/ML-CD15 : GODOX ストロボアクセサリ「ソフトテント (ML CS1625)」および「ディフューザードーム (ML CD15)」は、小型かつシリコン素材を活用した折り畳み可能で携帯性に優れたライティングアクセサリ。ラウンドヘッドアダプター、角型フラッシュヘッドホルダー、NEW GODOX マウントアダプターの 3 タイプのアタッチメントが付属している。ラウンドヘッドアダプターでは、人気の GODOX V1 シリーズや AD100Pro などに装着することができる。角型フラッシュヘッドホルダーでは、GODOX の V860 III など一般的な形状のフラッシュヘッドを持つストロボで使える (厚さ 40mm 以上の機種で装着可)。NEW GODOX マウントアダプターでは、AD300Pro、AD400Pro の他、LEDLED ライトの ML60/ML60Bi に装着可能となっている。

ML-SB3030 : 小型で使い回しの良い 30cm スクエア、NEW GODOX マウントのソフトボックス (グリッド付き)。収納時は 34 × 18.5 × 5.5cm となり、コンパクトなので、携帯性にも優れている。また内部はシルバー仕様になっており、コントラストを引き立てる。

■商品名・価格 (税別)・JAN コード

ロングフォーカスリフレクター「AD-R12」 3,200 円 4961360038408
ソフトテント「ML-CS1625」 5,500 円 4961360262087
ディフューザードーム「ML-CD15」 4,000 円 4961360262070
ソフトボックス「ML-SB3030」 5,500 円 4961360262100

問い合わせ先：(株) ケンコープロフェッショナルイメージング
URL <https://www.kenko-pi.co.jp>

◆朋栄：LOGIC JAM 放送機材展 2023 出展

NDI® 対応小型ビデオスイッチャー、バーチャル / RCG ソフトウェアなど最新製品を出展

株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は、2023年8月29日（火）にロイトン札幌（札幌市中央区北1条西11丁目1番地1）のロイトンホールA・Bにて開催された「LOGIC JAM 放送機材展 2023」（主催：株式会社ロジックジャム）に出展し、小型ビデオスイッチャー HVS-190I やバーチャルスタジオ / リアルタイム CG ソフトウェア VRCAM-Lite など最新製品 / ソリューションを紹介した。（ブース No.20）



小型 1M/E ビデオスイッチャー HVS-190I

主な展示製品

● 小型 1M/E ビデオスイッチャー HVS-190I [新製品]

本体とコントロールパネル一体型の小型ビデオスイッチャー。全入力にフレームシンクロナイザーを搭載。

オプションの HVS-NIF カードを挿入することで NDI® プロトコルを活用した IP 入出力が可能になり、SDI/IP 混在での運用に対応。HVS-190 シリーズとして、本体とコントロールパネルを分離した HVS-190S も発売中。

● キャラクタージェネレーター EzV-410

1RU のラックマウント型筐体を採用したキャラクタージェネレーター。上位機種 VWS シリーズとのデータ完全互換を実現し、統合ソフトウェア TelopStation を標準搭載。標準構成で HD 2 系統または 4K 1 系統のテロップ送出が可能。HD 送出しながら、もう 1 系統でプレビューを行うという運用も可能。

● バーチャルスタジオ / リアルタイム CG ソフトウェア VRCAM-Lite [発売予定]

ソフトウェアベースで、ノート PC での運用を可能にしたバーチャルスタジオ / リアルタイム CG ソフトウェア。NDI® 入出力に対応し、1 台のカメラ入力または Web カメラ入力によるコストパフォーマンスに優れたバーチャル制作が可能。カメラ入力は、センサー連動または仮想カメラの用途で使用可能。トラッキング出力付きリモートカメラを使用することで AR 運用も可能。

● クラウドコンソール ceacaa [新製品]

テロップ制作や編集をクラウド上で実現するための「コンソール機能」を提供。暗号化、ユーザー認証、セキュアなデータ受信に

よる安全性を担保しながら、高速画面転送技術により放送局内 / 局外を問わず安心して運用できるクラウド環境を実現。

放送局内のキャラクタージェネレーター VWS システムと連携、共存しながらクラウドテロップ制作を行える VWS on ceacaa、Adobe® Premiere Pro® または EDIUS Cloud [近日対応予定] を使用したノンリニア編集作業が可能な NLE on ceacaa、SONY C3 Portal と連携し、クラウド上での追いかへ編集を可能にする C3 Portal with ceacaa クラウドアプリを紹介。

NDI® は、Vizrt Group の登録商標です。

◆朋栄製品 5 年間修理無償保証の提供について

9 月 1 日出荷分から、ユーザー登録をいただいた製品に関して適用

株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は、お客様へ長期間の安心運用をお届けするため、日本国内で販売された朋栄製品について、9 月 1 日出荷分から 5 年間修理無償保証の提供を開始いたします。

今回の 5 年間修理無償保証の提供について、代表取締役社長の清原克明は次のように話しています。

「朋栄製品は、24 時間 365 日運用される設備で、5 年間、10 年間という長期にわたって使用されています。朋栄製品をより安心して長期間で使用いただけるよう、これまで 1 年間としておりました製品の『瑕疵期間』を大幅に延長いたします。一部の製品、消耗品、予防保全の修理については対象から除外されますが、今回、5 年間の修理無償保証のご提供を始めることで、長期間の無償修理を実施することが可能となります。お客様は、これまで以上に安心して、製品をご活用いただけるようになると思っています。」

5 年間修理無償保証は、対象となる朋栄製品を弊社ホームページ上でユーザー登録をすることにより適用されます。

ただし、下記に該当するものは対象外となります。

- ・ 製品個別の保守契約が存在するもの
- ・ 朋栄製品において、すでに在庫のみとなっている製品や生産中止製品
- ・ ソフトウェア製品
- ・ ラック取付金具等システム特注品
- ・ 弊社が定める消耗部品
- ・ 保守契約に基づくオーバーホールや不具合の未然防止のためのファン等の消耗品交換
- ・ 朋栄関連会社製品
- ・ ワークステーション等の他社製品

朋栄は、朋栄製品の付加価値を向上させ、朋栄製品をより長期間、安心してご利用いただくための取り組みを今後も継続してまいります。

【問い合わせ先】 株式会社朋栄 国内営業本部

e-mail : ad@for-a.co.jp

◆ゼンハイザー：Sonova Consumer Hearing Japan 新商品情報

商品名：AMBEO Soundbar | Mini (アンビオサウンドバー | ミニ)

2023年9月14日 00:00

価格：オープンブライズ

※店頭想定価格：120,000円(税抜き) 132,000円(税込み)

AMBEO Soundbar | Mini

まるで魔法

The world's most immersive sound

from one compact device.

アンビオサウンドバー | ミニ



コンパクト、なのに確かな没入感

ゼンハイザーのアンビオテクノロジーによる魔法のような立体音響を奏でるサウンドバーがさらにコンパクトになって登場。サウンドバー単体で7.1.4chを実現し、アンビオシリーズで最もコンパクトなアンビオサウンドバー | ミニはコンパクトな見た目からは想像できないほどの臨場感をお届け。シンプルでコンパクトに収まるのでリビングルームはもちろん、寝室、ゲームになど場所を選ばず設置しやすい上質なサウンドバーです。

コンパクトになっても一台で7.1.4chのサラウンドシステムを搭載

アンビオサウンドバー | ミニはサイズ幅約70X 奥行約10X 高約6.5cmの小さな筐体ながらサウンドバー単体で7.1.4chのサラウンドシステムを搭載。欧州最大の研究機関であるフラウンホーファーとの共同開発による最高峰のバーチャルテクノロジーを駆使して作り上げたサラウンドシステムで自宅をホームシアターへと変えます。

AMBEO (アンビオ) とは

AMBEOとは3Dサウンド・イマーシブオーディオにおけるゼンハイザーの商標登録された立体音響名称です。録音、ミックス、リスニング(再生)の全てのオーディオソリューションを網羅している唯一のブランドであるゼンハイザーで使われているものです。加えてドイツを代表する研究機関のフラウンホーファーとの共同開発による独自のアルゴリズムを用いた立体音響テクノロジーでビームフォーミング、バーチャルスピーカーのチャンネルマッピングを含めた様々な技術を高性能なキャリブレーションを通して実行。特に重要なのはキャリブレーションの正確性と性能であり、壁までの距離や壁の質、配置されている家具が音を反射させるものなのか、カー

テンなどの音を吸収するものなのかを認識し、その部屋に合わせた音響効果に最適化。キャリブレーションによりアンビオサウンドバーをその空間と一体化させて3Dサウンドを引き出します。

音響とテクノロジーの両面を高いレベルで融合させ、物理の法則を超えた包括的なリスニング体験をたった一台で届ける、全てが魔法のような技術です。

質の高いサウンドを描く6個のドライバー

ミニマルでコンパクトなアンビオサウンドバー | ミニはアンビオサウンドバー | ミニのパフォーマンスを高めるためのSonova Consumer Hearing 自社開発のドライバーを搭載。4インチのロングスローワーを2個、16インチのセルロースコーンのハイエンドフルレンジドライバーをフロントに2つ、サイドに2つ、全部で4個のフルレンジドライバーを搭載し、合計6個のドライバーを搭載。そして6chの出力を持つ250WのD級アンプを搭載。

高性能なフルレンジドライバー

高域用にツイーターを搭載することが一般的ですが、アンビオサウンドバー | ミニのドライバーデザインは本体のサイズやフォルムを含めて正確な高域を再現することができるよう設計しているので通常のツイーター同等の高域再現性を実現。

コンパクトサイズに秘めた力強い低域

コンパクトな見た目とは異なり、アンビオサウンドバー | ミニに内蔵されている2つのロングスローワー デュアルサブウーファーはこの2つのみで43Hzまでの存在感のある低域を再現する力強いウーファーです。またウーファーを上方向に配置することにより、本体の高さのコンパクト化を行いながら確かな低域の再現性を両立。

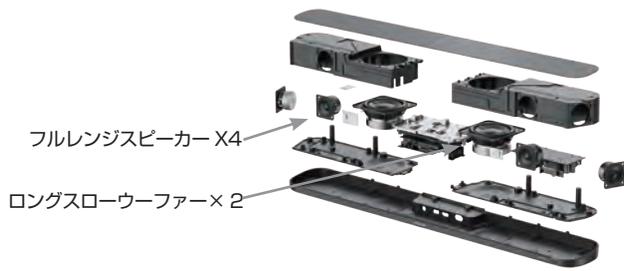
質の高いドライバーパフォーマンス

各ドライバーを支える250Wのアンプはそれぞれ独立した出力に対応するだけでなくデジタル駆動を採用。さらに一般的なサウンドバーはコスト面なども含めて複数のドライバーを一つのチャンバーに配置することがありますが、アンビオサウンドバー | ミニのそれぞれのドライバーはそれぞれのチャンバーに配置されています。これによって、より没入サウンドの質を高めています。ビームフォーミングテクノロジーのデジタルアンプシステムによって各空間に合わせて各ドライバーが高いパフォーマンスを発揮し最高の3Dサウンドを創出します。

映画、スポーツ、コンサート、あらゆるコンテンツを視聴していても観ているコンテンツの臨場感を今までにないほど味わうことができます。力強いデュアルサブウーファーと4つのハイエンドフルレンジスピーカーにアンプ、それぞれ高いパフォーマンスを発揮して再現する音はコンテンツの魅力さらなる高みへと誘います。

AMBEO 独自のアルゴリズムでトップ方向の効果を引き出す

フラウンホーファーと共同開発のアンビオテクノロジーは各製品に合わせたアルゴリズムを搭載。アンビオサウンドバー | ミニはトップ方向への音響効果をアンビオのアルゴリズムによるバーチャル技術で創出。天井方向へのスピーカーがない状態でも上方向への音響効果を生み出します。



いつもの音響を 3D サウンドにできる

アンビオサウンドバー | ミニのバーチャルサウンド技術により、もともとのコンテンツがステレオや5.1chのものでも3Dサウンドにアップミックスすることもできます。アンビオの技術により自然なサウンドで没入感のあるサウンドへアップミックスします。

視聴コンテンツに合わせて音の設定を自動で最適化

アンビオサウンドバー | ミニは視聴しているコンテンツに合わせて自動で音質を最適化。アンビオ独自のアルゴリズムが再生コンテンツに合わせてサウンドを音楽、映画、ニュース、ニュートラル、スポーツのジャンルから自動で調節してくれます。

様々な部屋に合った音響設定を生み出す高精度のオートルームキャリブレーション

部屋全体を包み込むような3Dサウンドを実現する上で重要なのがルームキャリブレーション。アンビオのキャリブレーションは音の反射に重要な壁との距離を正確に測定、音を吸収してしまうカーテンの場所やその他の家具の位置などを把握し全体の空間を認識します。さらにアンビオサウンドバー | ミニはキャリブレーション用に4本のマイクが本体に内蔵されているのでマイクの設置なども不要でより直感的に使いやすく、簡単に設定ができます。高精度なルームキャリブレーション機能でアンビオサウンドバー | ミニは優れた3Dサウンドを創出します。

接続、操作、全てがシームレス

もちろん自分で設定を変更することもできます。SmartControl(スマートコントロール)アプリ経由で設定を変えることができるので座ったまま操作することができます。さらに、プリセットをもとにしてイコライザー(EQ)を自分で調節して音質を変更することができますので自分の好みに合わせた音質に調節することもできます。またナイトモードやボイスエンハンスメントモードを搭載しているので夜間の時間でも使用することができるほか、セリフや声が聞き取りやすいようになります。加えてアンビオのバーチャルサウンド

のレベルもライト、スタンダード、ブーストの3段階から選ぶことのできるで気分や好みに合わせて調節できます。



最先端の幅広いコーデックに対応

アンビオサウンドバー | ミニは平面に加えて高さにも音響効果をもたらすDolby Atmos、MPEG-H、DTS:X、360 Reality Audioなどの最先端オブジェクトベースコーデックに幅広く対応。

最先端のオブジェクトベースコーデックに対応



主要なミュージックサービスにも対応

主要な音楽配信サービスにも対応しているので動画だけでなく音楽も気軽に楽しむことができます。



便利なスマートホームシステムとも連携

Google Home、Apple HomeKit、Alexaなどの連携が可能なので日常がもっと手軽になります。



ご注意：Alexaは国や地域、言語によってご利用ができません場合がございますので予めご了承ください。

<アイテムスペック>

製品名	AMBEO Soundbar Mini
型番	SB02S Black-JP
JANコード	4260752330183
Art No.	700140
保証期間	2年
サウンド対応	Dolby Atmos、DTS:X、MPEG-H、Sony 360 Reality Audio
再生チャンネル	7.1.4ch
スピーカー	フロント部(フルレンジ2個)、サイド部(フルレンジ2個)、トリアングル部(クォーター2個)
アンプ	合計250W
3Dサウンド	AMBEO(ライト、スタンダード、ブースト)Up-mix
サウンドモード	音楽、映画、ニュース、ニュートラル、スポーツ
サウンドエフェクト	ナイトモード、ボイスエンハンスメントモード
キャリブレーション	内蔵マイクを使用して自動調整
HDMI端子	eARC (v2.1)
セットアップボックス	クロームキャストビルトイン、AirPlay 2、Spotify connect、Tidal connect
Bluetooth	5.0 Bluetooth
コーデック	AAC、SBC
WiFi	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax
専用アプリ	ゼンハイザー-Smart Control
本体サイズ (幅×高さ×奥行き)	約700 × 65 × 100 mm
パッケージサイズ (幅×高さ×奥行き)	約790 × 135 × 208 mm
重さ(本体のみ)	約 3.3 kg
重さ (本体&パッケージ)	約 6 kg
付属品	本体、リモコン、HDMIケーブル、電源ケーブル
オプション	壁掛け金具 SB02-WM (品番 509482)

ご注意：サウンドバーをご使用するには、ホームネットワークの環境が必要です。

◆ソニー：日本空間デザイン賞 2023 受賞

日本空間デザイン賞とは：日本空間デザイン賞は、空間デザインの価値を未来へ繋ぐために設立された日本最大級のデザインアワードです。社会が複雑化するなか、人々の価値はモノの豊かさからココロの豊かさへと変化し、多くの課題と向き合っています。この社会の多面的な問題をデザインのちからによって解決に導き、希望あふれる未来を切り拓くことを使命としています。審査は時代性、創造性、社会性、文化性、意匠性、革新性、持続可能性という基準で専門家によって評価されます。また、2021 年度より空間デザインにおいて、すべての人々にとってより良く持続可能な未来の実現に貢献する作品を対象に、「サステナブル空間賞」が新設されました。



Sony Park 展 KYOTO

日本空間デザイン賞 2023 金賞受賞

2015 年まで使用されていた通常は非公開の京都新聞 印刷工場跡地を会場として使用。ソニーが取り組む事業をテーマに、6 組のアーティストと共につくったクリエイティブな体験型の展示です。歴史のある空間をリスペクトした上で、余白を大切に空間・展示構成を行いました。天井高が約 10m にも及ぶ空間には、現代美術家の玉山拓郎の作品をインストールすることで空間自体がアートになるようなインスタレーションを実施しました。

開催期間：2022 年 11 月 11 日（金）～ 23 日（水・祝）

<https://www.sonymark.com/ginza/sonyparkten/>



CEATEC 2022 Sony 's Booth

日本空間デザイン賞 2023 サステナブル空間賞受賞

IT 技術とエレクトロニクスの国際展示会 CEATEC に出展したソニーグループのブース。「ずっと、地球で感動を分かち合うために。」をテーマに、「地球」・「社会」・「人」の 3 つの視点で、テクノロジーの「兆し」から構成した、ソニーの環境に関する多様な取り組みをストーリー化して展示。展示空間では、ソニーが開発した環境に配慮した紙素材「オリジナルブレンドマテリアル」を什器などさまざまなかたちで使用しました。

開催期間：2022 年 10 月 18 日（火）～ 21 日（金）

<https://www.sony.com/ja/SonyInfo/News/Press/202209/22-035/>

Sony Park Mini 日本空間デザイン賞 2023 Longlist（入選）

<https://www.sonymark.com/mini/>

